

No.	10-2-7	場所	駒ヶ根市中沢		次世代への継承キーワード
名称	林道大松尾線被災状況				伝聞・言い伝え / 災害現象理解
災害現象	道路の被災			河川	新宮川
補足事項				支流	

諏訪市 岡谷市 辰野町 箕輪町 南箕輪村 伊那市 高遠町 長谷村 宮田村 駒ヶ根市 飯島町 中川村 大鹿村 松川町 高森町 豊丘村 喬木村 上村 飯田市 南信濃村 清内路村 阿智村 浪合村 平谷村 下條村 阿南町 売木村 天龍村

概要	<p>上流でがけ崩れが約390ヶ所で発生し、土砂が新宮川に一気に流れ込んだ。竜東（伊那山地）では駒ヶ根市中沢新宮川、百々目木川流域一帯で、死者・行方不明5名、被災人員558名に及び人的被害と家屋や発電所の倒壊、橋の流失等の建物にも被害が生じた。</p> <p>百々目木、大洞地区などでは、土石流によって60戸以上が流出全壊、農地のほとんどが失われた。</p> <p>●体験談：災害当時 駒ヶ根市中沢小学校4年生</p> <p>百々目木のところを通る時、川向うの橋が落ちました。板橋に来る時、ほうのきぼらがぬけて来るところでした。ほうのきぼらはせまい川なのにゴウゴウともものすごい音をたてて石や木などをおしよせてきて、橋をうずめました。くねの橋も渡ったらすぐ落ちました。もうさがりの橋もおちかけていました。大がく通りを来る時大きなくりの木がまっすぐ立って流されて来ました。一略一夜中におかあさんに起こされました。見るともう道が半分もなくなっていました。</p> <p style="text-align: right;">（「続・濁流の子」より）</p>
----	--

記録



林道大松尾線被害状況 被害当時

出典	「復興記録」p.48/「続・濁流の子」p.7
備考	

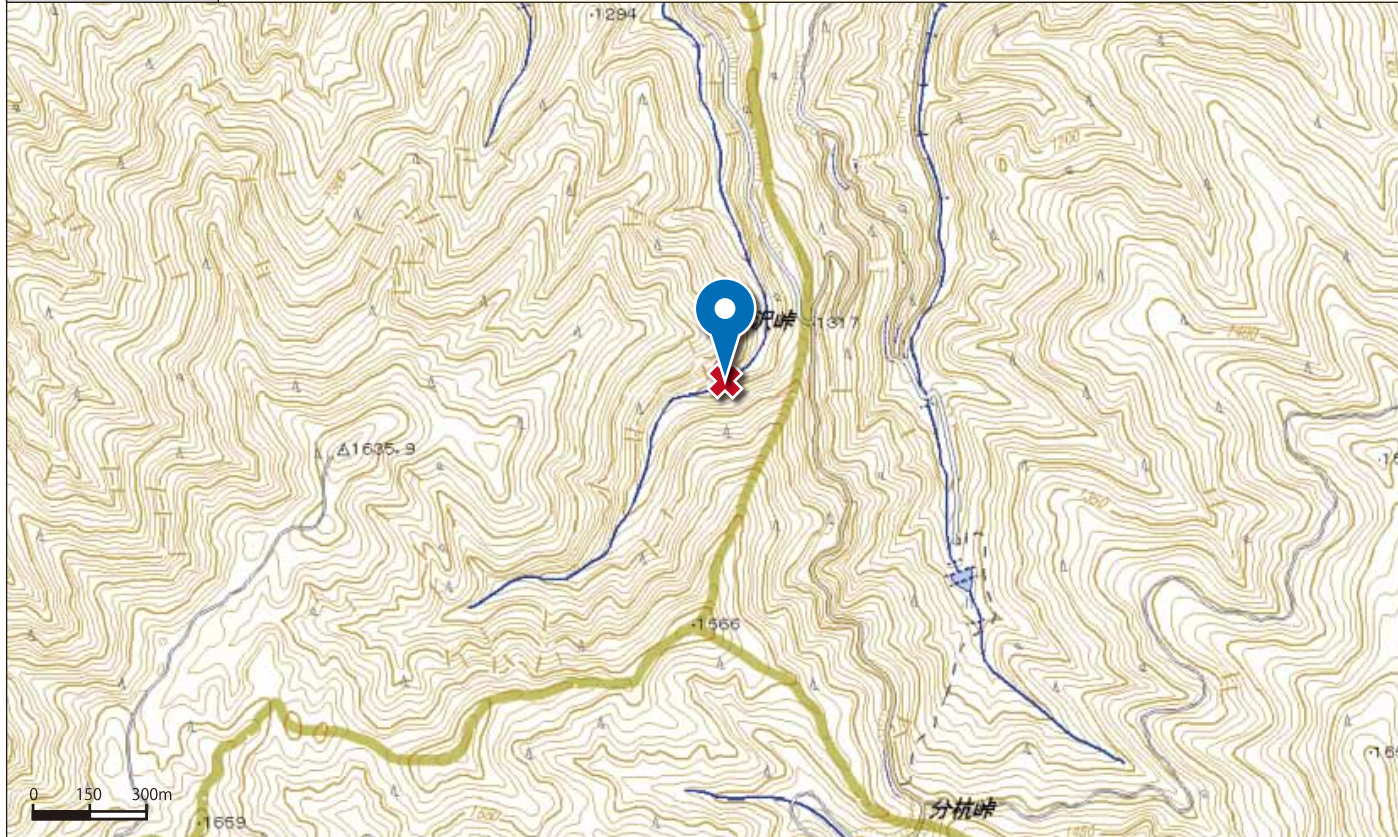
No.	10-2-7	場所	駒ヶ根市中沢	緯度	35.708555
-----	--------	----	--------	----	-----------

名称	林道大松尾線被災状況	経度	138.062074
----	------------	----	------------

地図	広域図
----	-----



地図	詳細図
----	-----



備考	上記地図に表示されている、黄色の区域は「土砂災害警戒区域」（通称：イエローゾーン）といい、土砂災害のおそれがある区域を指します。また、赤色の区域は、「土砂災害特別警戒区域」（通用：レッドゾーン）といい、土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域を指します。
----	---